（六日夕刊）

磐城新聞

休刊〔第一日曜〕
定價〔壹枚二錢　壹ケ月五十錢〕郵稅十錢
廣告料〔一行三十錢指定廿錢增〕
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社

芝居もの語り□□
梅川忠兵衛のこと

「我さへ浮世忍ぶ身に、梅川が風俗の人目に立つを包みかね、借駕籠に日を送り、奈良の旅籠屋三輪の茶屋、五日三日と夜を明かし、廿日餘りに四十兩、遣ひ果して二歩殘るかねもかすむや初瀬山…隨分呑氣で風流な委托金費消事件の被告人でありますが、これは申上げるまでもなく太棹で先刻お馴染の「冥途飛脚」梅川忠兵衛の道行の一節であります

×

實說によりますと、忠兵衛といふ男は大和國磯城郡箸中村―現今では三輪驛と柳本驛の中間に介在してゐる一寒村です―一農家から故あつて大阪へ養子に參つたのです。渠は同村の增田忠左右衛門といふ大百姓の家に生れた男女の双生兒でありましたが、天性の美男で、同村の手習師匠をしてゐました伯州浪人の娘お吉といふ水の出花と協約が成立してゐたのです、

×

然るにお吉の父はそんなことをも知らず、さる金持の醫者から仕度金百兩といふのに目がくらんで娘へ相談なしに縁組の締結したことを娘が聽いて大發憤き、忠兵衛と相談の末、その結納の金さへ返せば破談になるものと心得、父の手文庫から百兩包を盜み出さうとした所を父親に見つけられ無論斬る氣はなかつたのですが刀の峰打がチト強く利いてお吉は不愍や氣絕した儘蘇生しなかつたのです

×

金を盜み出さうとして殺された娘は自業自得だが對手の忠兵衛、そのまゝにして置けず、殊にその家が金持と來てゐますから浪人も慾が出て掛合をつける、旁々忠兵衛を家に置けなくなつし、さる人の世話で大阪の龜屋といふ飛脚問屋へ遣はしたのであります

×

大和の田舎からポット出た忠衛兵フト新町つちやの抱遊女梅川と馴染そめて、果ては遊興費に差支へ惡事とは知りながら、飛脚問屋の主人が委托金を消費したので身邊頗る危くなり、梅川を誘拐して出奔中逮捕されましたが、梅川は共犯者でありませんから翌年の三月在獄四ケ月目で無罪放免、京の六條珠數屋町の實家へ戻つて間もなく再び流の身となつたとあります

×

斯うした譯の出奔ですから、梅川の方では死ぬの生きるのといふ程思つてゐたのでありませんし、また兩人の馴染もそんな深間でなかつたのであります。たゞ放蕩者の忠兵衛のカセになつて飛んだ浮目を見たので氣の毒な位の女です

×

忠兵衛は逮捕入牢、延享元年大阪飛脚問屋の掟書に依る

一、金子入の書狀請取道中にて切解き遣捨候飛きやくは金高によらず引廻しの上死罪

といふのに所斷されて在獄一ケ年で斬られたのですから、心中でも何でもなかつたのですたゞ馬鹿を見たのは梅川だけです

十二月七日　新曆十二月七日　舊曆十一月七日

▲一白の人　思惑外の物意の如くならざる日增資も圖▲二黑の人　野心を起さず遲々たりとも本業をまもるべし▲三碧の人　一克では世の中は通らぬ日穩順なるがよし▲四綠の人　どん底は過ぎたりとも尙ほ隱忍し居るべき日▲五黃の人　常業以外の事に手をまさず成をまもるべき日▲六白の人　多少障碍ありともたゆまされば思ふ所に達す▲七赤の人　口舌さへつゝしめば何事も結滯なく上首尾の日▲八白の人　氣を開闊し家內一致して働くべし飲食注意▲九紫の人　地の理への和を得る日相談ごと皆整ふべし

講談　幕末奇傑高山彦九郎

(15)　西洋々作　布施長春畫

不法の破門（二）

「病人を見舞うたといふも白々しい。そちは昨夜、伊勢崎の松井氏を襲うたといふではないか」

「ねゝッ!何と仰せられます」

ひこ九郎ははつとして問ひ返さうとしました。が一龍齋はその云ひ譯をきかうともせず

「ねいッ、云ひ譯聞く耳もたぬ、身共の知人とも知らず、松井氏を襲うたばかりか片腹痛い仁義の講釋、あまつさへ金をゆすり取らうとしたといふではないか」

「先生ッ!それは」

餘りだ、餘りだ、餘りな曲解だ。

ひこ九郎はこの曲解―いや、松井正庵のざんを腹立たしく思ひましたが、何か含むところあるらしい一龍齋は、ひこ九郎に口をひらく餘祐さへも與へませんでした。

「そのような腐れ根生を持つてゐたとも知らず身共は差かしい。いつこの一龍齋はその樣な道を講じたぞ、いつ、その樣な仁を論じたぞ」

「……」

「松井氏は聞えた仁者ぢや、しかも身共の親友ぢや。それをあらうことか少年の分際で小癪な振舞ひ」

「………」

「大方、病人に金を惠んだといふも僞りであらう、いづれは汚らはしい酒色狂ひ

「先生!」

「ねいッ!下れ、も早、そちは身共の弟子ではない。門下生ではない。今日唯今限り破門致したッ!出て失せいッ!」

「えゝッ……それでは、あの……」

彥九郎にはすべてが意外な出來事でした。どれもこれも見苦しい情實至上の出來事、あの我利々々の松井正庵が、何で仁者なものか、それを唯友人であるとの理由ばかりで、むしろ正しい弟子の自分を破門、これが仁義を說き人道を敎へるし道であつてよいのか。孔孟の道を踐み行ふものゝ行ひであつてよいのか

彥九郎は松井正庵の卑劣な行爲を憎むと共に人間としての師を知り、偶像視すらしてゐた人のその偶像を破壞されて了つた自分を知りました。

かうなれば勿論、いつ迄もさうした師の許に就てゐようとは思ひません。自ら捨てゝも去つて行かう積りでした。

が、その事を知つて、默つてゐる筈のないのは兄の傳藏でした。

その翌日、一龍齋のもとから兄へ宛て次の樣な親書が屆けられました

「御舍弟彥九郎殿儀、一昨夜半、に醫を以て名高き松井正庵氏邸を襲ひ人非人と罵倒したるのみか、鳥目を強要し、あまつさへねに打擲を加へたる趣、重々不屆に候、而も納付すべき當方への謝禮をもつて、酒色に溺れ、表にに行を爲する等儒學の道に外れたることのみ多く、かくては當舍の取締上にも差支へ多く候まゝ今般破門を申し渡候へば以後聽講まかりならず。この段及御聽入候也」

「ふーむ」

これを見て傳藏はひそかに會心の笑みをさへ浮べました

「彥九郎」

その夕方、祖父母や兄の手前流石に破門されたといひもならず何事もない風に家を出ようとした彥九郎を意地惡く傳藏は呼びとめました。

「お前はどこへ行くのかな

「はい、もう時刻でございます故伊勢崎へいつて參ります」

「なに?伊勢崎へ」

「はい」

彥九郎はさういひすてゝ出て行かうとしました

夜間診療

內科　十二指腸虫病　專門　內科部

淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

胃腸性病　松村醫科院（平南町電話一〇七番）

營業種目

內地材　材木各種、羽柄材各種　建築諸材請負　礦山用坑木其他諸材請負

外材部　米松、米杉、大角製材調達請負　其他

㊄ 佐藤材木店　常磐線平町新川町　電話三三五番

レコードハ此のマーク!を

HIS MASTER'S VOICE　TRADE MARK REGISTERED

店員募集

肉聲のビクターレコード販賣店　會田時計店　平町四丁目（電話三六三番）

淋病と是非この藥が必要

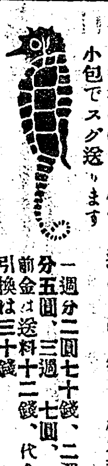
御婦人のには　せうかちには

殊に、慢性淋病、せうかち、下此藥に氣付かぬと一生涯惱まなければなりません、

そこに角一週間飲めば眞價が判ります

注意、藥は三週間迄ありますが意外に早く治る方がある故、最初は先づ一週分で結果を見る事が必要です。

峰岸淋丹は一般賣藥と異なり家傳の秘法を嚴守して調製する當家の專賣藥なれば、希望者は本家へ來訪あれ遠方の方は前金なり代金引換なり御都合のよい便で申込み何品か判らぬ樣密封小包でスグ送ります



一週分二圓七十錢、二週分五圓、三週七圓、代金前金は送料十二錢、引換は三十錢

東京峰岸淋丹　縣下一手頒布所　平町南町火の見下　電四三九番

毛糸編物講習

生活改善は衣服から　消費節約も衣服から　發育盛りの小供には毛糸編物が第一　夜間輕便文化器の編物を無料講習致して居ます、どうぞ御遠慮なく御出で下さい

平町田町　藤田女學校隣　ハシモトヤ糸店

平町田町　高久病院　電話五〜三番

醫學士　高久忠　新潟醫學士　赤羽清　藥劑士　佐竹菊雄

內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり戴けば社員が伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社　平出張所　電話六〇三番　五四一番

丸昇軒食堂

結婚披露會　諸歡送迎會

「時代は緊縮」

大宴會を一圓會に願ひます

〔銘酒白馬の雪一本　高級料理三品附〕

權威ある帝都一流のコックの調理を誇こ致します

平町南町　丸昇軒食堂

公認　生徒大募集（學則及び入學案內申込次第進呈す）（時間貸歡迎）

自動車界今後の大發展に順應せんが爲め、本校茲に見る所あり、有爲の青年の爲め奉仕的破格の授業料を特定し大募集を開始せり。機は熟せり、先づ來りて本校獨特の敎授を見られん事を望む。實地練習の長時間にして學資の低廉なること全國無比、本校最も誇りとする所なり。

本校出身者の受驗者は實に七割以上の合格率を有し、現在入學生七拾餘名の多數成り

每月一日新學期開始

本科　三ケ月卒業　三ケ月分　六十圓　學科實習費共

速成科　二ケ月卒業　二ケ月分　四十五圓　學科實習費共

受驗科　一ケ月卒業　一ケ月分　三十圓　學科實習費共

◎受驗準備短期練習部　每月試驗前開始十日間全學費十圓

◎卒業生は試驗前無料練習の便あり

◎自動車貸値下　新フオード、シボレー一時間三圓　T型フオード一時間二圓

磐城自動車學校　福島縣平町四軒町電話六四〇番

七五三祝着の賣出し

七五三の御用意は　ツルヤへ!

可愛らしい子供服

オーバー　四圓五十錢ヨリ

マント　二圓五十錢ヨリ

毛糸エリマキ　六十錢ヨリ

毛シヤツ　五十錢ヨリ

子供帽子

箱迫

レース付服エプロン　二十八錢

その他皆樣の御氣に召しませう樣新しい品を取揃へました

平町四丁目　ツルヤ　電一四〇

警察を一歩も出でない
警官更迭の內狀を突く
當局の偏見橫暴を難じ
鈴木縣議連日の奮鬪

（福島電話）警察費の質問を繼續して通常縣會は五日午後一時十分開會し湊議長は調査委員の辭任を報告して補充を指名し、議案中正誤に關し書記朗讀さらに建議案廿件の提出を報告

鈴木辰三郎氏 警察官は國民の生命財產を保護する機關で公平無私でなければならぬ、之れに反し感情に依つて執務すること〻あらば憂ふ可きである吾々は選擧に際し警察官に於てすら暴露戰術を取る事を聞くのは遺憾である、民政黨が內閣を取るや民政黨略のために警察官の異動を縣當局に强要し行はしめたとの說がある。更に總選擧を前に最近は巡査の端までも黨利益のために更迭させるゝ全縣下に取沙汰されるが斯くては警察官は安心して職務に携はる事が出來ない、その結果は政黨に左右されないために職務を怠るに至るであらう小柳知事は公明正大に政治を行ふと云へながら以上の如き擧に出たならば公明を缺くものである、昨日の決議案の如きも明るき政治を行ひる結果ではない、私は總選擧に直前し警察官の異動をなすや否やに就き親切なる答辯を求めたい

鋭い及は更に小柳知事の官行豫算にも及びまたは警察官待遇問題及び減俸問題にまで伸びゆく官吏の生活を休銀から立證して役人の被害を見ないといふて市街地に生活し借家住ひをする警察官の手當を增せどいふ、民政黨議員の數ある警察官辯護論よりは數段の光彩がありまた親切である

旅費手當の減額についても警察官の機能發揮に支障を見れば警察官は飾り物と同樣になる、徒らなる減額は一文おしみの百知らずである

中町の自動車損害に例をとり巾もあり質もある質問を續け、消防協會の寄附九萬圓の保管について注意し、更に回春園に移り

他人の褻錢で鍔口を叩く樣に內務省に背負はれて改善を期するのは考へ物である

今回の緊縮で功勞のある園長が馘首されるが恩給を與へる方策はないかと人情味を見せる

歌川警察部長 人事行政は常に愼重に取扱つてゐる異動は選擧準備のためすることは考へてゐない、己を得ない場合は少範圍に止めたいと考へてゐる、近く總選擧があるとするも一黨一派の爲めに異動を行ふ意思は全然ない

待遇その他に就て飾り氣もなく答ひたが聞くからに受太刀である、消防協會會黨の內容に就いて

私の赴任する前に款項其他豫算に超過して支出した如くであるが不正は全然ない樣であるから整理決算する爲役員を召集し大體承認を得てゐるから世上に噂さる如き事はない

と辯明し回春園は恩給年限が四五年あるので救へ得ないが自分の將來に於ては便宜を與へると正直に答へる

平檢查所の 產米檢查
米質は不良

平穀物檢查所では十一月末から石城郡勿來町を筆頭に產米檢查を開始したが三日まで十日間に於ける產米檢查の成績を見ると米質は不良で之は刈取期の降雨が崇つた結果であるが色澤も惡くそれに加へて調製が不良のため中均等級の四等六分にも還しない有樣である、米質が不良の上減收に加へ米價が益々下落して來たので農家では悲觀し切つてゐたが收穫減の當然の結果として米價は本月上旬に入つてから幾分上向となり二十七圓四十錢の相場であり之を前年に比すれば四十錢の高値を示してゐる

四倉港[illegible] 會長決定
小港宗吉氏に

同町では一昨[illegible]會及び區會[illegible]したが平町の爲めに[illegible]するに足るもの[illegible]

石城郡四倉町築港期成同盟會長推薦問題に關し役員會を開催したことは既報の如くであるが四日午後六時から更らに同町漁業組合樓上に協議會を再會し[illegible]の精神を遵守し其役命を果し得る努力家をえらぶべしと主張するものと會長は町會員外より選任し續いて役選の幾狀少有爲の人を起用し目的の貫徹遂行に邁進するの要ありとの說も尊らるつたが選擧說も起つたけれども遂に副會長の指命となり會長小港宗吉氏副會長一名の缺員に長谷川德次郎氏を補充すること〻なり滿場拍手を以て同意を表し夫れより縣會開會中に於ける縣運動にたづさはる人員の抽籤を行つた結果會長以下十名當選したと

である

水仕前借倒し

石城郡四倉町仲町飲食店鈴木豊高方水仕千葉縣清水町生れ宮本よく(二二)は前借金二百七十圓を踏倒し情夫と共に去月末無斷逃走したので抱へ主は八方搜索中である

植田花柳界 苦惱
遊興稅の問題

植田町明年度の遊興稅割當は一千五百九十五圓で今年度の一千五十圓に對し五百五十圓五割以上の增加を見てゐるので花柳界は行くか戾るかの窮地にある折柄法外な事であると非常に狼狽し過般來之が對策を講じゝあり不當な課稅であるを以て不納同盟を唱ふるもあり不穩の形勢にあるため町役場では縣より係員の來町を請ひそ〻〻調査を行つて折衝を重ねた結果悲慘な實狀を參酌し今年通りこの要求に對し結局相方歩みよつてこの程漸く一千二百五十圓に決定したがこれを今年に比すれば尙二百圓の增額で玉代値上はできず料理店組合員に青息の體である

自費患者を多く 內容を完備
病める多くの者の爲め 回春園を建直し

本郡豐間村縣立回春園の改善策として縣は明年度から從來醫員の外縣衛生課技師及防疫醫の二名を新に同園へ駐在せしめ石城地方を擔任區域とせしむと一方同園患者に對し診療に從事せしむる事となつてゐる、更に種々の設備その他に對しても遺憾なからしめ園本來の目的に副ふよう考究しつゝあり其一助として出來得る限り多く收容する方針をとり同園使用料規則中の一部にも改正を加へられる即ち入園料は恩賜財團濟生會委托患者一日八十錢、日本赤十字社福島支部委托患者一日一圓八十錢前記以外の患者一日二圓五十錢の割であるから濟生會委托患者分に對して五十六錢を增額した一圓三十六錢を徵收すること〻なり更に一般患者に對する藥劑料從來五十錢を一圓に增額してゐる外レントゲン透視料一回一圓、同寫眞料一回三圓以上太陽燈照射料一回五十錢宛を徵收するよう設備の完全と相俟つて料金を徵收する定めとなつた以外は從來の儘

地下採掘の訟訴に 湯本町が勝訴
直ちに祝賀會を開く 平町まで大喜び

平町では附近炭礦から地下採掘の出願に脅かされ之が反對運動に忙殺されてゐるが一方東京市麴町區紀尾井町元福島縣入山炭鑛々業代理人吉本宗一氏は仙臺鑛山監督局に湯本町の地下にある石炭の試掘を出願し公益に害ありとの理由で却下されて仙鑛局は相手に行政訴訟を起し大正十五年以來繫爭中であつたが十二月三日大審院の判決で原告が敗訴となつた右の報を得た湯本町は大によろこんで同町は五日仙鑛局に「萬歲、多年の骨折を謝す」と電報で感謝して來た右につき四日夜湯本町の訴訟代理人東京市神田區中猿樂町福岡弁護士から湯本町側の勝訴となつた旨電報があつたので

家賃値下に就て（一）
大和義一

吾人はこれ、可否の詳論するに先立ち彼の住宅問題の解決策に就いて、遺憾なきまでは公私政策施設をなして、英國の家賃制限法の過程を調べて見たいと思ふ

英國が、曾て歐洲戰亂の結果都市の家賃が非常な勢ひを以て暴騰するや、政府は興論に動かされて一九一五年に家賃制限法を發布し倫敦に於ては年三十五磅、蘇蘭土に於ては年三十磅、その他の地方に於ては年二十六磅の家賃について絕對に家賃の値上を禁じたのであつた、これは全く勞働者の住宅の家賃値上を禁止するの趣旨に出でたのである然るにまた、一部俸給生活者から家賃の制限は獨り勞働者階級に止めず彼等の住宅に及ぼすべしといふ運動が起り、政府は更に一九一六年家賃制限法を改正して制限の範圍を擴め倫敦に於ては年七十磅、蘇蘭土に於ては年六十磅其他の地方に於いては年五十二磅、以下の家賃に對して家賃値上げを禁じ尙は更に生活費、騰貴甚だしきに及んで一九二〇年三月三度家賃制限法を改正し一層その制限、範圍をひろめ借家人保護の爲家賃値上げを禁止したのであつた

しかるにこの家賃制限法は三度目の家賃制限令を改正した一九二〇年の七月遂ひに破棄せられて一九一四年の家賃標準より三割の値上げをみとむ、といふ規定を發布し更に四割、値上げをみとめそうして政府は補助金を交附して建築奬勵の政策をとつたのであつた

英國政府はどうして家賃制限法を破棄して家賃の値上げをみとめ補助金まで交付して建築奬勵の政策をとらなければならなかつたかといふは家賃制限法の結果として家主は新たらしく貸家を建るものがなくなり新築をしようとして工事に着手したものまでもこれを中止し、また現在の貸家に對しても毛、修繕を加へず破損せられてもそのまゝに拋棄して少しもかまはないといふやうな結果貸家は拂底する衛生狀態は惡くなる危險の度は益々加はつて來るといふ狀態で住宅問題は制限法實施以前よりも却て一層惡化し遂ひに借家人保護の目的を以て創設せられた。

家賃制限法も全々失敗にをはつてしまつたのである

これは各人をして自由に競爭を追はしむる現代の經濟組織に於いて經濟上の原則を無視した遣り方であつたからである。

英國の如き住宅問題に對して徹底的の公私施設をなしてゐる國に於いてすら家賃制限法ではかくの如き失敗の歷史を殘してゐる。

この實例は決して他山の石として看過すべき事柄ではあるまい。

東京電話

東京市電の 從業員總罷業
けふ一齊に行ふ

東京市電總從業員はボーナスの二割減並に昇給一期中止から爭議を惹起し突如六日朝同盟休業を行ひ始發電車並に自動車は運轉中止するに至り東京全市民は交通網遮斷の爲め大混亂をきたしたと

學級數を減じて 教員減らし計劃
緊縮に惱まされ拔く 平町當局の苦心

平町では緊縮方針に依つて明年度豫算を作成するに當り平町歲出入豫算の三分の一を占める教育費に於て削減を加へるより外に道がなく、此の削減の方法を實行するために學級を減らす計劃のため目下教育關係者とそれ〴〵研究中であるが現在七十名位を收容すると第三小學校が明春から開校しても教員があまる事になるので此の學級減案を計劃したものらしいが平町に於ける就學兒童は益々增加の傾向にあり明年度就學兒童數は男三百四十名、女三百七十三名、合計七百十三名で昨年の六百四十九名に比し六十四名の增加を示して居りそれに教育上一學級の收容人員は四十名內外が最も好成績であると言はれてゐる際に此の學級減は相當問題になるものと見られてゐる

前鐵道次官收容
瀆職罪狀明白

前鐵道政務次官降旗元太郎氏(現民政黨代議士)は越後鐵道事件に連座なし瀆職罪の廉を以て東京地方裁判所に於て取調を行つたが此程罪狀明白となり五日夜市ケ谷刑務所に收容されたと

民間飛行機 不時着陸
小名濱海岸に

津田沼飛行場鈴木飛行士は宮城縣古川町から津田沼へ向つて愛機を操縱して四日午前十一時頃石城郡小名濱町上空にさしかゝつた際北東の烈風に煽られ操縱不能に陷り危く墜落を免れて同町海岸に不時着陸をなしたが機体の一部に故障を來したので修理の上同日午後出發した

平署消防檢閱
檢閱官各町村に出張 日割左記に決定

平署管內秋季消防檢閱は左記の日割に執行されると

△八日內鄕消防組△十三日湯本消防組(檢閱官鯨岡警部補)△十一日上小川消防組△下小川消防組(橋谷田部長)△飯野消防組(高橋部長)△好間消防組(市毛部長)△鹿島消防組△十三日神谷消防組(橋谷田部長)△夏井消防組(市毛部長)△十六日高久消防組(橋谷田部長)△磐崎消防組(高橋部長)

平町の物價
町役場の調査値

平町に於ける十一月末の日用品物價左の如くである

(金額單位厘)

上白米(二三五)中白米(二三〇)下白米(二二五)白麥(二〇〇)平麥(二二〇)(單位一升)味噌(八〇〇)醬油(六〇〇)酒(一〇〇〇)木炭(楢丸)(二三〇)楢割(二六〇)雜割(二八〇)(單位貫)白砂糖(一六〇)赤砂糖(一三〇)上豚肉(五〇〇)並豚肉(三〇〇)上牛肉(六〇〇)並牛肉(三〇〇)(單位百匁)

四倉信用組合
常任役員會

石城郡四倉町有限責任四倉信用組合では五日午後一時から階上に常例役員會を開き左記事項につき協議を遂げたと

一、事業經營に付協議
二、四倉銀行預金に關する件
三、漁業組合より資金借入方申込みの件

磐中軍事敎練 查閱
水島聯隊長が

磐中生徒の軍事敎練查閱の爲め來る十四日若松聯隊長水島大佐並に第二師團司令部附安田少將も臨場の事に決した

平町人事

△出生

田町五十四野木次郎氏長男隆

研町十一邢順德樂氏三女トシ

彌宜町七日野眞吉氏二女ツネ

痔の最高內服藥 ダイサン錠
鼻のクスリ チクノール錠
平町五丁目角 山野邊藥局

平町紺屋町 藤沼醫院 電話五〇七番

木村代議士 歸朝歡迎會
一、日時 十二月八日午後一時
一、場所 有聲座
一、會費 五十錢
右の如く開催いたします、何卒振つて御出席を乞ふ
發起者一同

新荷着ト商品全部値下
貴金屬 金側寶石入アンクル腕時計 十貳圓ヨリ
時計 クロム側寶石入アンクル腕時計 六圓ヨリ
眼鏡 十八金石入指輪 四圓ヨリ
蓄音器 精工舍裝〇S印目覺時計 貳圓ヨリ
精工舍製美術硝子置時計 貳圓ヨリ
商會社製八日卷掛時計 五圓ヨリ
外保險付領安品澤山入荷
歲末ノ御贈答品ヲ是非
皆樣ノ 金光堂時計店へ 電七三六
◎時計蓄音器修繕ハ早ク良ク安ク致シマス

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會 一等賞受領
花春 同 優等賞受領

醬油釀造元 鹽屋 山崎合名會社 電話一〇番

外科一般(入院隨意)
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院 電話三〇九

銘酒 [illegible]世界
酒造元 壽 清水屋
各炭鑛御用達
台場小名濱町 小野晋平 電話六番

耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一(電話五五九)